

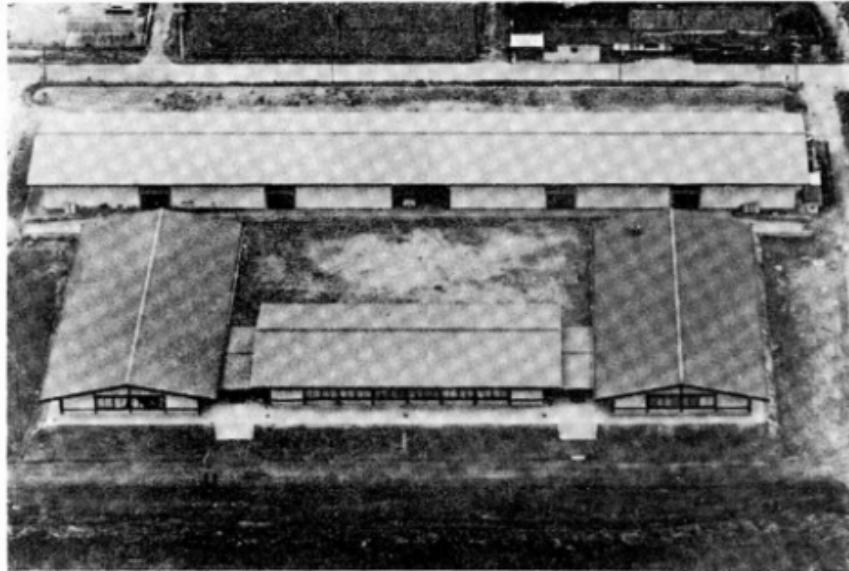
奈良国立文化財研究所概要

1970年11月



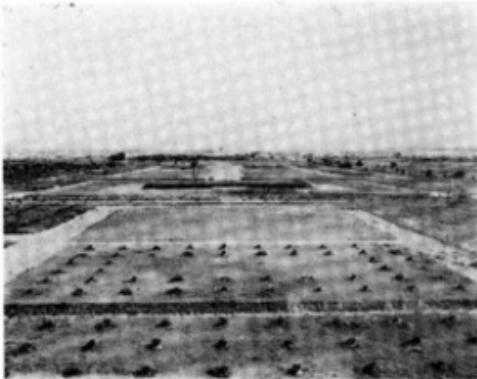
本館正面

所在地 奈良市春日町50番地
TEL. 0742(22)0474~6



平城宮跡発掘調査部(平城宮資料館)全景

所在地 奈良市佐紀町
TEL. 0742(33)4821~3



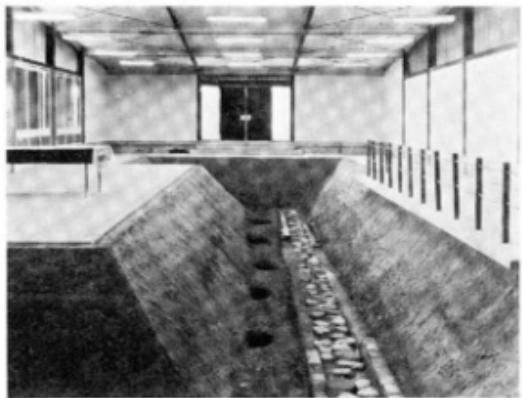
整備の進む平城宮跡



平城宮資料館 前景



平城宮跡 覆星



地下室内 (堆积道構)

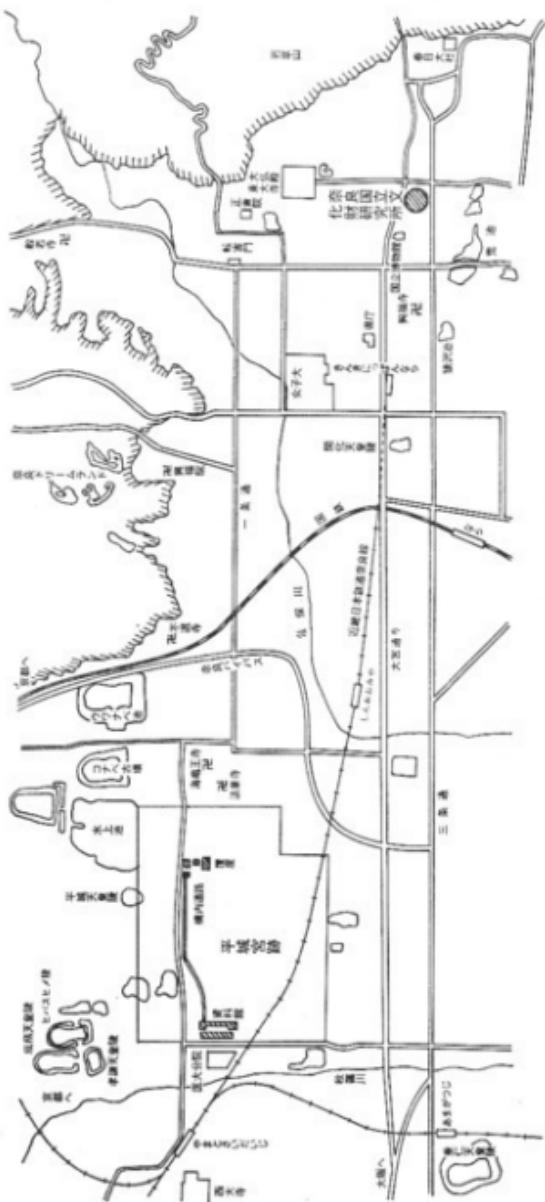


資料館展示室



資料館收藏庫

片倉位置図



運営の特色

設立の主旨は奈良を中心とする諸々の文化財の調査研究（南都七大寺や平城宮跡の研究等）にある。組織的には、無形文化財、天然記念物、民俗資料を除く有形文化財の調査研究を行なうため、3研究室ならびに1部7調査室がある。

とくに昭和38年度から発足した、平城宮跡発掘調査部による特別史跡平城宮跡の発掘調査は、当研究所の研究事業の中心をなしており、昭和44年度よりは飛鳥薬原宮跡の発掘調査にも従事している。

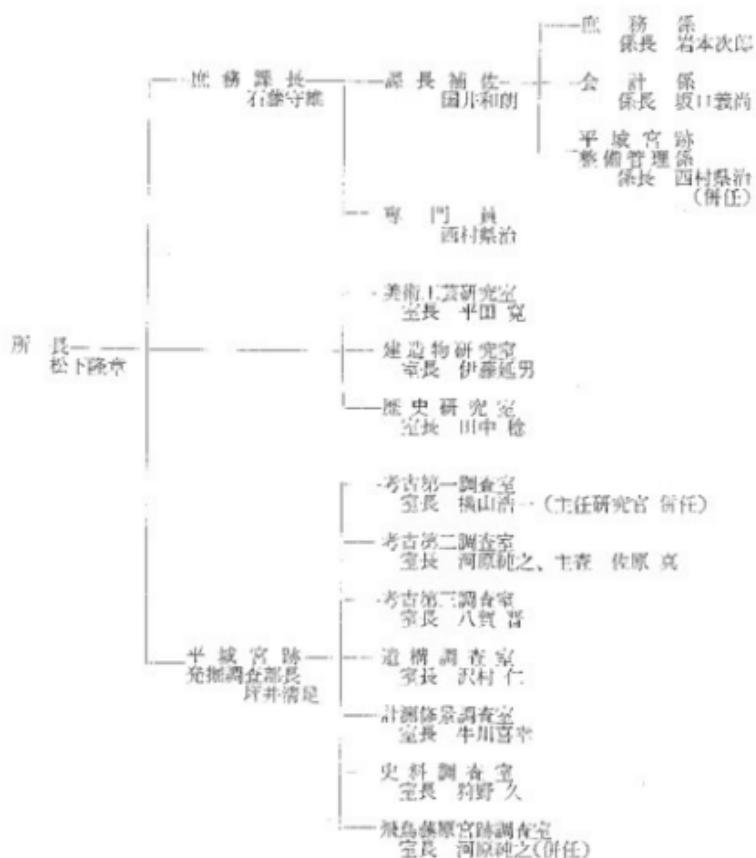
その他、建造物の修理や指定のための調査、埋蔵文化財の発掘調査、美術工芸関係あるいは名勝（庭園）、史跡の指定のための調査を行ない、文化庁の文化財保護部各課と密接な連携を保ち、文化財保護行政に役立つ研究を行なっており、さらに「平城宮資料館」や「平城宮跡覆星」を一般に公開して文化財の知識普及に役立てている。

また、研究調査方法においては、写真測量の技術や冷凍真空乾燥機による遺物保存法、ソフテックス光線による絵画撮影などを導入するなど、科学技術的分野を開拓しつつある。

沿革

- 昭和26年10月6日 奈良文化財研究所設置準備規程（文化財保護委員会裁定第11号）により設置準備会発足
- 昭和27年4月11日 奈良文化財研究所発足（奈良市春日野町50番地）
- 昭和28年5月15日 開所式
- 昭和29年6月29日 奈良国立文化財研究所となる
- 昭和35年10月15日 平城宮跡発掘調査事務所開所（奈良市佐紀町）
- 昭和36年9月15日 署務室は庶務課となる
- 昭和38年4月10日 平城宮跡発掘調査部が設けられる
- 昭和39年3月12日 同上調査部に第1～第3調査室、保存整理室、史料調査室を置く
- 昭和40年3月31日 同上調査部に第4調査室を置く
- 昭和43年6月15日 文化省附属機関となる
- 昭和45年4月17日 平城宮跡発掘調査部の組織を考古第1～考古第3調査室、遺構調査室、計測修景調査室、史料調査室、飛鳥藤原宮跡調査室と改める

機 構 図



職 員 構 成 (定員 62名・従員 84名)

区分	定員	区分	定員	区分	定員	区分	定員	区分	定員	区分	人員
指 定 職 所 長	1 行政職(一)	11 行政職(二)	6 研究職	44 補佐員	22						
	事務職員	8 自動車手	2 部長	1 事務系	15						
	技術職員	3 駕駕務員	4 室長	9 技術系	2						
				研究員	34	研究系	5				

事務分掌

(庶務課)

- ・職員の人事に関する事務を処理すること
- ・職員の福利、厚生に関する事務を処理すること
- ・公文書類の接受および公印の管掌その他庶務に関すること
- ・経費および収入の予算、決算その他会計に関する事務を処理すること
- ・行政財産および物品の管理に関する事務を処理すること
- ・平城宮跡の遺跡および遺物の保全のための管掌に関すること
- ・府内の取締りに関すること
- ・前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること

(美術工芸研究室)

- ・絵画、彫刻、工芸品、書跡その他建造物以外の有形文化財および工芸技術に関する調査研究を行ない、ならびにその結果の公表を行なう

(建造物研究室)

- ・建造物に関する調査研究を行ない、ならびにその結果の公表を行なう

(歴史研究室)

- ・考古および史跡に関する調査研究を行ない、ならびにその結果の公表を行なう

(平城宮跡発掘調査部)

- ・飛鳥藤原宮跡調査室を除く各室においては、平城宮跡に関し、その発掘を行

なうほか、次の事務を処理する

- 。考古第一調査室は木器・金属器等の、考古第二調査室は土器等の、考古第三調査室は瓦等の保存整理および調査研究ならびにこれらの結果の公表を行なう
- 。遺構調査室においては、遺構の保存整理および調査研究ならびに、これらの結果の公表を行なう
- 。計測修景調査室においては、遺構の計測および修景ならびに、これらに関する調査研究ならびに、これらの結果の公表を行なう
- 。史料調査室においては、木簡の保存整理および調査研究、史料の収集および調査研究ならびに、これらの結果の公表を行なう
- 。飛鳥藤原宮跡調査室においては、飛鳥藤原宮跡の発掘、遺構および遺物の保存整理および調査研究ならびにこれらの結果の公表を行なう

予 算

(昭和40年度～昭和45年度)

(単位千円)

年 度	昭和 40 年 度	41 年 度	42 年 度	43 年 度	44 年 度	45 年 度
事 項						
(項) 国立文化財研究所						
事 業 管 理	1,715	1,177	1,193	1,139	1,654	2,242
一 般 研 究	7,271	8,205	9,702	9,389	10,400	12,244
平 城 宫 路 発 掘 調 査	57,143	64,486	62,981	59,840	71,331	
平城宮跡発掘調査 および飛鳥藤原宮跡発掘調査						95,151
平城宮跡整備管理						66,819
設備整備および施設工事費				56,442	129,575	
施 設 整 備 費						21,106
そ の 他	513					
人 件 費	38,652	42,363	48,001	53,203	63,130	56,543
計	105,294	116,231	121,877	180,313	276,090	257,105

(注：人件費の40～44年度は決算額、45年度は予算額)

科 学 研 究 費

(単位千円)

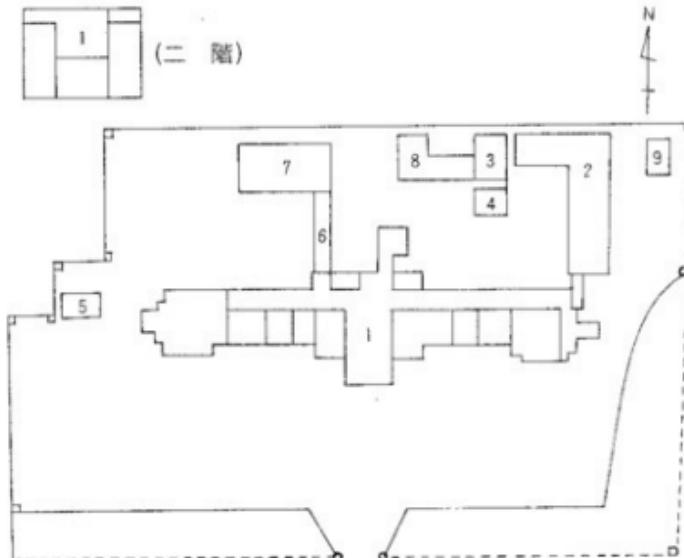
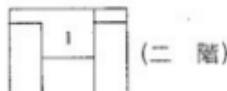
年 度	昭和 40 年 度	41 年 度	42 年 度	43 年 度	44 年 度	45 年 度
事 項						
総 合 研 究					1,300	1,500
一 般 研 究				2,210	20,370	20,280
機 関 研 究			1,780			
各 個 研 究	414	760	750			
奨 励 研 究				730	820	700
計	414	760	2,530	2,940	22,490	22,480

建 物 概 要

(1) 本 館 序 倉

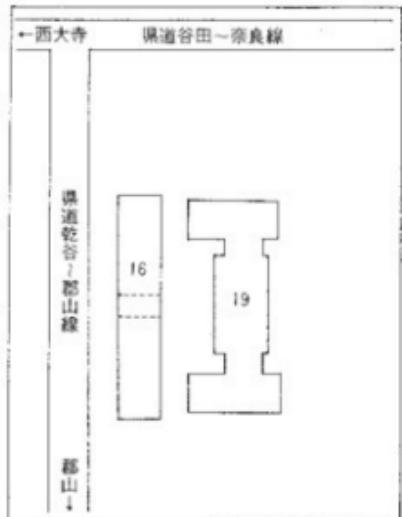
()は取得年月日

建物番号	名 称	種 目・構 造	延 建面積	積 積	建 築 年 月 日
1	本 館	事務所・建物 木造・二階	714m ² 946		明35. 3. 25 (昭29. 1. 26)
2	基 理 室	事務所・建物 木造・平家	204 204		大2. 1. - (昭29. 1. 26)
3	倉 庫	倉庫・建家 木造・平家	39 39		昭8. 3. - (昭29. 1. 26)
4	〃	クタ	19 19		(〃)
5	物 資	雜木屋・平家	26 26		(〃)
6	渡 廊 下	雜木屋・平家	23 23		昭29. 3. 24
7	書 庫	倉庫・鉄筋コンクリート平家	110 110		〃
8	宿 直 宝	雜木屋・平家	56 56		昭31. 10. 20
9	卓 庫	倉庫・コンクリートブロック・平家	20 20		昭34. 12. 21
計			1,211 1,443		
土 地			5,126		

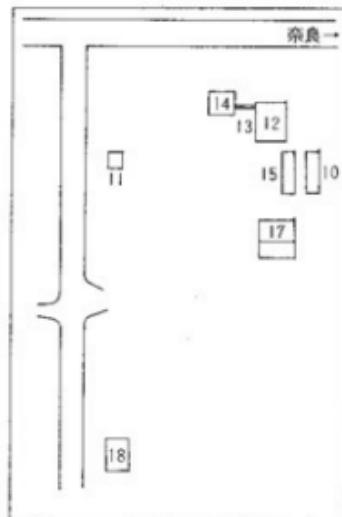


(2) 平城宮跡発掘調査部

建物番号	名称	種目・構造	延面積 面積 面積	建築年月日
10	遺物保存倉庫	倉庫建・ブロック	200.00m ² 200.00	昭43. 3. 30
11	〃	タ タ	72.00 72.00	〃
12	覆 屋	タ タ	784.00 784.00	41. 3. 28
13	渡り廊下	舞屋建	60.00 60.00	〃
14	覆 屋	倉庫建	168.00 168.00	41. 10. 16
15	展示室	タ タ	240.00 240.00	42. 6. 30
16	収蔵庫	タ タ	2,456.18 1,552.82	44. 3. 29
17	覆 屋	タ タ	384.00 384.00	43. 3. 30
18	〃	タ タ	359.78 359.78	44. 3. 31
19	展示室および 研究室	事務所建	1,943.31 1,943.31 6,668.07 5,763.91	45. 3. 29
計				



(西部地区)



(東部地区)

備 品 等

(1) 自 動 車

普通乗合自動車	1台
乗用自動車	1 "
貨物自動車	4 "
軽四輪自動車	1 "
原動機付自転車	4 "
特殊自動車(トラクター他)	2 "
計	13 "

(3) 研究資料

図書	20,077冊
地図	157部
写真	61,724点
復原模型(朱雀門ほか)	16基

(3) 器材類

地上写真測量機	2台
広角実体測定装置(闇化機)	一式
冷凍真空乾燥機	1台
万能経緯儀(ワイルドT II型)	2台
トランシット(AG II型)他	7台
レベル(ワイルドN II型)他	8台
万能製図機(ドラフターMV110)	12台
落射立体顕微鏡	1台
実体顕微鏡	1台

ソフテックス	2台
マイクロ写真撮影機	3台
マイクロ自動現像機	1台
マイクロプリンター	1台
マイクロリーダー	1台
16ミリ撮影機	1台
16ミリ映写機	1台
自動乾燥機（F C II型）	2台
フィルム乾燥機	1台
複写機（コニファックスA4）	1台
複写機（コニファックスB4）	1台
計算機	3台
アブライド	1台
変電装置	一式
ボイラー	1台
ホイスト	2台
ブルドーザー	1台
ベルトコンベヤー	70台
インパクトローラー	1台
草刈機	5台

普及事業

(1) 公開講演会

- | | | | |
|------------------------|-------|----------------|-------|
| 第1回 平城宮跡発掘建築遺
跡について | 浅野 滅 | 昭和
29. 4.24 | 於本所講堂 |
| 平城宮跡発掘出土遺
物について | 鈴田 正哉 | | |
| 平城宮跡出土遺物と
大陸文化との関連 | 小泉 順夫 | | |
| 第2回 仏師蓮慶について | 小林 剛 | 29. 5.15 | 於本所講堂 |
| 修学院離宮建築およ
び庭園の復原的研究 | 森 薫 | | |
| 第3回 大安寺および藥師寺
の発掘 | 浅野 滅 | 29.11.13 | 於本所講堂 |
| 同出土遺物について | 田中 一郎 | | |
| 奈良高校校庭に於け
る遺跡について | 鈴木 猶吉 | | |
| 第4回 後乘坊重源の事蹟に
ついて | 小林 剛 | 30. 5.21 | 於本所講堂 |
| 『南無阿彌陀仏作善
集』について | 田沢 坦 | | |
| 天竺様建築について | 鈴木 猶吉 | | |
| 第5回 西大寺(美術工芸)調査報告講演会 | | | |
| 興正菩薩觀音の胎内
文書について | 小林 剛 | 30.10.15 | 於西大寺 |
| 舍利塔について | 守田 公夫 | | |
| 絵画について | 浜田 隆 | | |
| 第6回 平城宮跡、興福寺発掘調査報告講演会 | | | |
| 興福寺食堂の発掘経過 | 浅野 滅 | 30.11.16 | 於本所講堂 |

- 興福寺食堂遺跡について 杉山 信三
- 平城宮跡の発掘について 坪井 清足
- 第7回 院政時代の寺院建築 叙尊の舍利塔について 守田 公夫
西大寺塔址発掘調査報告 坪井 清足
- 第8回 元興寺極楽坊調査報告
板絵に関する考察 浜田 隆
本堂について 鈴木 嘉吉
聖徳太子について 小林 勘
- 第9回 講所五周年記念講演会
飛鳥寺の歴史 小林 勘 32. 3. 23 於毎日新聞
飛鳥寺の建築 浅野 清
飛鳥寺の発掘 坪井 清足
映画「柱離宮」解説 森 茂
- 第10回 安達時源施入の法華寺一切経について 田中 稔 32. 7. 5 於本所講堂
光学的方法による元興寺極楽坊彩色印仏の研究 浜田 隆
東大寺指図堂紙迦如来(善円作)を中心として 田沢 坊
- 第11回 飛鳥寺塔址の発掘調査 坪井 清足 33. 5. 24 於本所講堂
川原寺の第一次発掘調査 鈴木 嘉吉

- 中世庭園文化と大乗
院ならびに一乘院 森 薫
- 第12回 奈良川原寺の発掘調査 坪井 清足 34. 3.14 於毎日新聞社
興福院の「ふくさ」
について 守田 公夫
- 京都国際文化会館建設予定地(尊勝寺址)
の調査 杉山 信二
- 第13回 仁和寺の古文書調査
について 田中 稔 34. 5.16 於本所講堂
南都諸寺の古図につ
いて 小林 剛
- 第14回 最近の平城宮跡発掘
調査について 工藤 圭章 35. 6. 4 於本所講堂
手向山神社宝物につ
いて 守田 公夫
- 第15回 敦尊研究の一環 小林 剛 36. 5.13 於本所講堂
平安時代末の院家建築 杉山 信二
平城宮跡出土の木簡 田中 稔
- 第16回 平城宮跡発掘調査報告 桥本龟治郎
坪井 清足 36.11. 7 於本所講堂
- 第17回 10周年記念講演会
南都諸大寺旧境内の
立地的考察 森 薫 37. 6. 2 於本所講堂
平城宮の官署建物に
ついて 工藤 圭章
法隆寺中門金剛力士
像の実測調査につい
て 長谷川 城

- 第18回 西寺跡の調査と平安
京の条坊 杉山 信三 38. 5.25 於本所講堂
- 平城宮跡の出土遺物 田中 勝
- 仁王会本尊図の展開について 清野 智海
- 第19回 大安寺発掘調査報告 杉山 信三 38.11. 2 於本所講堂
- 西大寺弥勒菩薩坐像について 長谷川 誠
- 平城宮跡出土の木簡について 狩野 久
- 第20回 昭和38年度における
平城宮の調査 沢村 仁 39. 5.16 於本所講堂
- 文化財と写真測量 牛川 喜幸
- 第21回 天平の木圓鏡について 半田 寛 39.11. 7 於本所講堂
- 秋篠寺の寺地と建築について 鈴木 充
- 最近の平城宮跡の発掘調査について 河原 純之
- 第22回 名物製とその背景について 守田 公夫 40. 5.22 於本所講堂
- 大化薄郭制についての一考察 横山 浩一
- 奈良市街の変遷について 工藤 生章
- 第23回 小彌遠州の藝術について 森 薫 41. 5.28 於本所講堂
- 古代における水田の開発 八賀 香
- 第24回 中世和様建築の意匠について 伊藤 延男 42. 5.27 於本所講堂

	仏師康円について	長谷川 誠	
第25回	中世における証文保管の一例	田中 稔	43. 5.25 於本所講堂
	弥生式文化と銅鐸	佐原 真	
第26回	平城宮跡発掘調査10ヶ年の成果	坪井 清足 沢村 仁 狩野 久	44. 6. 7 於本所講堂
第27回	デンマーク・イギリスの遺跡とその保存 整備	田中 球	45. 5.30 於平城宮資料館
	近畿地方を中心とする民家研究の現状	宮沢 智士	
第28回	文化財保護法施行20周年記念—仏教文化史研究—		
	大仏背後の山	伊藤 延男	45.10.31 於本所講堂
	七大寺巡礼私記と十 五大寺日記	田中 稔	
	南都の高僧画像	平田 寛	
	十一面觀音像考	松下 隆章	45.11. 7
	薬師寺講堂三尊像の 原所在についての検討	長谷川 誠	
	密教の鎮壇具	森 郁夫	

(2) 退官記念講演会

第1回	楽浪・帶方郡と倭國との関係—邪馬台國の問題にちなんで—	権本亀治郎	41. 4.23 於本所講堂
第2回	東大寺四至山標岡について	森 雄	42. 4.17 於本所講堂
第3回	京の大寺について	杉山 信二	43. 4.20 於本所講堂

(3) 現地説明会

第1回 平城宮跡発掘調査現地報告会		30. 8.20
第2回 飛鳥寺第一次発掘調査現地報告会		31. 5.26
第3回 飛鳥寺第二次発掘調査現地報告会		31.12.22
第4回 飛鳥寺第三次発掘調査現地報告会		32. 7.27
第5回 川原寺第一次発掘調査現地報告会		32.12.21
第6回 川原寺第三次発掘調査現地報告会		33.12.20
第7回 平城宮跡発掘調査現地報告会		34. 9.26
第8回 "		35. 8.27
第9回 "		35.12.16
第10回 平城宮跡第8次発掘調査報告会	坪井 清足	37. 6.16
	工藤 圭章	
第11回 平城宮跡第10次発掘調査報告会	坪井 清足	37. 9.15
	工藤 圭章	
	沢村 仁	
第12回 平城宮跡第12・13次発掘調査現地報告会	沢村 仁	38. 9.14
	田中 雄	
第13回 平城宮跡発掘調査（朱雀門跡および第二次内裏北辺）報告会	岡田 茂弘	39. 9. 5
	本村 豪章	
第14回 平城宮跡第21・22次発掘調査報告会	鈴木 充	40. 2.13
	八賀 齋	
第15回 平城宮跡出土の木簡について	横田 拓実	40.11. 6
平城宮跡第22・26・27次発掘調査について	工藤 善延	
	佐原 真	

第16回	平城宮跡第32次発掘調査について	河原 純之	41. 3. 1
第17回	最近の平城宮跡発掘調査について 出土木簡について	横田 義章 鬼頭 清明	41.11. 5
	現地説明（第36次発掘調査）	柴原 和彦	
第18回	第36・38次平城宮跡発掘調査結果について 第39次発掘調査について	松下 正司 森 郁夫	42. 3.25
	現地説明（第39次発掘調査）	同	
第19回	第37・40次平城宮跡発掘調査の成果 第41次調査の成果	佐藤 興治 阿部 義平	42.11.11
	現地説明（第41・43次調査）	町田 章	
第20回	平城宮東南隅調査（第44次）の成果 平城宮東城出土の木簡	小笠原好彦 加藤 優	43. 3. 2
第21回	東朝集殿跡の調査 朝集殿の建築について	西谷 正 宮沢 智士	43. 8.10
第22回	飛鳥小治田宮跡推定地発掘調査 現地説明会	木下 正史	45. 9.12
第23回	平城宮第一次内表地域発掘調査 現地説明会	宮本長二郎	45. 9.26

(4) その他の催し

【展示協力】

奈良国立文化財研究所10周年記念「奈良国宝展」
～平城宮跡発掘品も展覧～
(奈良瞬山会、日本経済新聞社主催)

【後援】

平城宮発掘展
(島根県教委、日本経済新聞社共催)

【主 催】

平城宮跡覆屋一般公開
(発掘調査出土品展観)
44.11.1～11.3 於 平 城 宮 跡

【展示協力】

平 城 宮 展
(朝日新聞社主催、文化庁後援)
同 上
44.1.4～1.28 於 東京小田急百貨店
同 上
44.2.7～2.12 於 大阪近鉄阿倍野
百貨店
同 上
44.4.18～4.23 於 近鉄四日市百貨店

【主 催】

平城宮跡覆屋一般公開
(発掘調査出土品展観)
44.10.22～11.5 於 平 城 宮 跡

【主 催】

文化財保護法施行20周年記念
平城宮跡資料館、覆屋特別公開
—遺構・出土品・模型等展観—
45.10.20～11.8 於 平 城 宮 跡

研究成 果

奈良国立文化財研究所学報

年 度	書 名	担 当 者
昭和29年度	第1冊 仏師連度の研究	小林 剛
	第2冊 修学院離宮の復原的研究	森 薫
30年度	第3冊 文化史論叢	小林 剛、森 薫 杉山信三、田中一郎 田中 稔
31年度	第4冊 奈良時代僧房の研究	浅野 清、鈴木嘉吉
32年度	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告	浅野 清、杉山信三 坪井清足、鈴木嘉吉
33年度	第6冊 中世庭園文化史	森 薫
	第7冊 貞福寺食堂発掘調査報告	坪井清足、鈴木嘉吉
34年度	第8冊 文化史論叢 二	小林 剛、守田公夫 浜田 隆、杉山二郎
	第9冊 川原寺発掘調査報告	杉山、坪井、鈴木、田中(稔)、工藤、田中(穂)
35年度	第10冊 平城宮跡、伝飛鳥坂蓋宮跡 尊勝寺跡発掘調査報告	杉山、坪井、鈴木、工藤、田中(穂)、岡田
36年度	第11冊 院の御所と御室(院家建築の研究)	杉山信三
37年度	第12冊 巧匠安河野陀仏快慶	小林 剛
	第13冊 寶殿造系庭園の立地的考察	森 薫
	第14冊 唐招提寺藏「レース」と「金龜舍利塔」に関する研究	守田公夫
	第15冊 平城宮発掘調査報告 II —官衙地域の調査—	坪井、鈴木(新)、田中(穂) 上藤、沢村、田中(穂)、 岡田、狩野、河原
38年度	第16冊 平城宮発掘調査報告 III —内裏地域の調査—	榎本、坪井、田中(穂)、 工藤、沢村、田中(穂)、 岡田、狩野、河原
	第17冊 平城宮発掘調査報告 IV —官衙地域の調査 2 —	榎本、坪井、田中(穂)、 工藤、沢村、田中(穂)、 岡田、狩野、河原

	第18冊	小堀遠州の作事	森 茂
42年度	第19冊	藤原氏の氏寺とその続家	杉山信三
44年度	第20冊	名物製の成立	守田公夫

奈良国立文化財研究所史料

年 度	書 名	担 当 者
昭和29年度	第1冊 南無阿弥陀仏作善集(複製)	田沢 坦
30年度	第2冊 西大寺觀尊伝記集成	小林 刚
38年度	第3冊 仁和寺史料 寺誌編一	田中 稔、狩野 久
39年度	第4冊 俊乗坊重源史料集成	小林 刚
41年度	第5冊 平城宮木造 一	田中(稔)、田中(琢)、 狩野、原、横田(拓)、 曳山、加藤
42年度	第6冊 仁和寺史料 寺誌編二	田中 稔、狩野 久 加藤 優
44年度	平城宮木造 一 (解説)	坪井、田中(稔)、田中 (琢)、狩野、横田、工 業、鬼頭、加藤ほか

奈良国立文化財研究所年報 1958~1970

平城宮第13次発掘調査出土木簡概報

平城宮発掘調査出土木簡概報 (1)~(6)

